

授業のワークシート	年 組 番
	名前 ( )

1. 【③-1-1 水害からくらしを守る施設<sup>しせつ</sup>】を思い出してみましょう。 …【導入】

【本時の課題】

自然災害<sup>さいがひ</sup>からくらしを守るために自分たちにできることを考えよう。

2. 【③-2-156 水害のインタビュー映像<sup>えいぞう</sup>】を見てみましょう。 …【展開Ⅰ】



○インタビューでは、誰が何をしていましたか？メモをとりながら見ましょう。

例：消防署、消防団、自衛隊で、約 18,000 個の土のうを作って水を止めた。町内会の人たちと協力して側溝の土砂をかきだした。

→ 地域の水害を経験した人や災害対応活動を行った人の言葉をとおして、実際の水害時の状況について学ぶ。

3. 【③-2-2 水害から地域を守るためにはたらく人たち】を使って調べましょう。



⇒ このような、国や都道府県、市町村の取り組みのことを、  
( 公 助 ) といいます。

4. 【③-2-3H28 台風<sup>えいぞう</sup>のインタビュー映像】を見てみましょう。 …【展開Ⅱ】



→ 「自助」、「公助」に加えて「共助」について学ぶ。

○インタビューでは、誰が何をしていましたか？メモをとりながら見ましょう。

例：小学生が避難所で食べ物を配るのを手伝った。

高校生が、水害で汚れた家の片づけを手伝った。

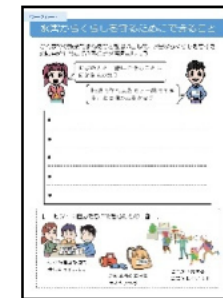
→ 地域の水害を経験した人や災害対応活動を行った人の言葉をとおして、実際の水害時の状況について学ぶ。

⇒ このように、人のためにできることをし合って助け合うことを、

( 共 助 ) といいます。

5. 【③-2-4 自分たちにできること】を使って考えましょう。

(教科書 P46, 47) → 避難場所の確認や防災グッズの用意など、災害が起きた時にいち早く避難できるよう普段から心がける事や、防災訓練の参加など地域との関わりなどへと導き出す。



【学んだこと】 …【終末】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：自然災害<sup>さいがひ</sup>、防災、助け合い】

例：自然災害からくらしを守るため、同じまちに住む人と助け合い、防災に取り組むことを共助と言います。

⇒ 自助、公助、共助によって、自然災害<sup>さいがひ</sup>による被害をできるだけ減らそうとする考え方のことを

( 減 災 ) といいます。